



海の向こうへ…… (AP)

海外勤務で競争から脱却

マルチタスクで飲酒量が3倍増

毎日だ。
夜は夜で週2、3回ほど
は会社関係の付き合いで潰
れれる。取引先の接待の場合
もあれば、現地スタッフの
慰労、日本人駐在員同士の
懇親会で集まることも

原料メークターに勤める南
さん(33歳仮名)は、2年前に初の海外勤務を命じられた。中国で、任期は4年。現地採用者30人を束ねる営業所長だ。といつてはい。朝9時に出勤し、部下を動かしつつ、自分でも取引先を駆け回る

合いが増えたのは仕方がな
い。ただ、厄介なのが、東京からやってくる出張者やお偉いさんのアント接
待。距離が近いのもあり、
毎月誰かしら飛んでくる。

話題の高級レストランを押
さえてメシをたらふく食わ
せ、サービスのいい「小姐」
がいるスナックへエスコート。休日の日中はゴルフの

順送りしてい
る裏返しともいえます」
(渡辺氏)前出)

「日本にいる時よりも付き
合いが増えたのは仕方がな
い。ただ、厄介なのが、東
京からやってくる出張者や
お偉いさんのアント接
待。距離が近いのもあり、
毎月誰かしら飛んでくる。

お供やら、買い物のお手伝
い。夜はまた宴会だ。これ

ひと昔前はエリートだったが…

企業のグローバル化が進み、若手社員を海外に出す動きが広がっている。若いうちに経験を積めということだが、ここでしくじったら、出世レースから早々に転落する」とにな

る。丸紅は昨年度から、入社7年目までの全社員に海外経験をさせる制度を導入。三菱商事も今年度から入社8年目までの全社員に海外経験を義務づけた。対象者は年間150～170人に膨らむという。世界をまたにかける総合商社であればなるほど納得

だが、海の向こうにどんどん進出しているメーカーでも盛んだ。日立製作所はこの2年間に30代半ばまでの社員200人を派遣予定。トヨタ自動車は来年度入社予定の内定者10人ほどを米ペニン

ルベニア大に短期留学させられる。費用は会社持ちだ。

情報収集などで、数字を追

わずに済んだ。「ところが、最近の駐在員は非常にハードです。マルチタスクを求められ、現地トップであり、総務担当であり、労務もこなす何でもある。マネジメント経験のないまま放り出され、あつぶんな進歩になつてスンタルヘルスに不調をきたすサラリーマンは少なくありません」

こう話すのは、海外在住邦人向けメンタルケアサポートを行うMD・ネット専門の渡辺ユキノ氏だ。

仕事はそこそこ。平日からゴルフ三昧で何となく人脈を広げ、日本から遊び半分でやつてくる出張者や役員を中心まで接待すればよかつた。それが今や、様変わりしている。

「海外勤務の向き不向きやならないし、週末を取られるのもしそっちゅうな

やう。

「海外勤務の向き不向きは、半々です。『向いていない』が5割。

この5年間で『精神的な不調を感じる』という相談が

2倍増が72%などとい

う。

「海外勤務の向き不向きは、半々です。『向いていない』が5割。

この5年間で『精神的な不

調を感じる』という相談が

2倍増が72%などとい

う。